

TIES v8.5 TIES V8のインストール方法 TIES機能モジュールの利用方法

目次

- TIES V8のインストール方法について … P.2
- TIES V8のインストール … P.3～11
- TIES機能モジュールのインストール方法について … P.12
- TIES機能モジュールのインストール … P.13～15
- Moodle2.5でのNFSの設定 … P.16～18

発行：NPO法人CCC-TIES



This work is licensed under a [Creative Commons Attribution 3.0 Unported License](https://creativecommons.org/licenses/by/3.0/).

TIES V8のインストール方法について

- TIES V8(Moodle)のインストールの方法を説明します
- 事前準備
 - TIES V8の入手
 - TIES V8をサーバーにアップロード
 - DBの作成
- インストール作業では以下の設定・処理を行います
 1. 言語設定
 2. DBの設定
 3. サーバーのチェック
 4. テーブルの作成
 5. サイト設定
- メール配信用のCronの設定
- Moodleが提供するサーバーのインストール方法については以下を参照ください
 - <http://docs.moodle.org/2x/ja/Moodle%E3%82%92%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%82%B9%E3%83%88%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%81%99%E3%82%8B>

- アップロードしたTIES V8にアクセスします
- 使用する言語を選択します
 - 本資料では日本語を選択した場合の画面を使用しています
 - どの言語でも操作の流れは同じになります

Installation

Language

Choose a language

Please choose a language for the installation. This language will be used as the default language for the site, though it may be changed later.

言語を選択します

Language English (en) ▾

Next »



- Moodleのデータディレクトリを設定します
 - Webサーバーが書き込み権限が必要です
 - Webに公開しているディレクトリを指定しないようにしてください
- ウェブアドレス・Moodleディレクトリ・データディレクトリは初期値が設定されています
 - 画像はセキュリティ上の都合で、非表示としています

インストール

パス

パスを確認する

ウェブアドレス
Moodleにアクセスすることのできるフルウェブアドレスです。複数アドレスを使用して、Moodleにアクセスすることはできません。あなたのサイトに複数のパブリックアドレスがある場合、このアドレスを除く、すべてのアドレスにパーマネントリダイレクトを設定してください。あなたのサイトにイントラネットおよびインターネットからアクセスできる場合、ここにはパブリックアドレスを入力してください。また、イントラネットユーザもパブリックアドレスを利用できるように、DNSを設定してください。アドレスが正しくない場合、あなたのブラウザのURIを変更して、異なる値でインストールを再開してください。

Moodleディレクトリ
Moodleインストールに関するフルディレクトリパスです。

データディレクトリ
あなたには、Moodleがファイルをアップロードすることのできる場所が必要です。このディレクトリは、ウェブサーバユーザ（通常「nobody」または「apache」）から読み込みおよび「書き込み」できる必要があります。しかし、ウェブからは直接アクセスできないようにしてください。データディレクトリがない場合、インストーラーは作成を試みます。

ウェブアドレス

Moodleディレクトリ

データディレクトリ

前へ 次へ

moodle

Moodleのデータディレクトリを入力

- DBのタイプを選択してください
 - 使用する環境で利用できるものが不明な場合は管理者に連絡してください

インストレーション

データベース

データベースドライバを選択する

Moodeでは、いくつかのデータベースサーバのタイプをサポートします。どのタイプを使用するか分からない場合、サーバ管理者に連絡してください。

タイプ

« 前へ 次へ »



DBタイプを選択してください

- DBの接続するための情報を入力します
 - 画像は前頁にてmysqlを選択した場合の画面になります
- テーブル接頭辞及びUnixソケットは変更が不要な場合はそのまま構いません
- Moodleのディレクトリ(4Pで設定されたディレクトリ)に書き込み権限がない場合エラーになります

インストール

データベース

データベース設定

Improved MySQL (ネイティブ/mysqli)

あなたは、ほとんどのMoodleデータが保存されるデータベースを設定する必要があります。すでにデータベースユーザに必要なパーミッション、ユーザ名およびパスワードがある場合、データベースが作成されます。テーブル接頭辞は、任意です。

データベースホスト

データベース名

データベースユーザ

データベースパスワード

テーブル接頭辞

Unixソケット

« 前へ 次へ »



DBの接続情報を入力します

6

- 著作権に関する表示です
- 承諾しないとインストールを進めることができません

インストール

Moodle - Modular Object-Oriented Dynamic Learning Environment

著作権表示

Copyright (C) 1999 onwards Martin Dougiamas (<http://moodle.com>)

This program is free software: you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation, either version 3 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

See the Moodle License information page for full details: <http://docs.moodle.org/en/License>

これらの要件を読んで理解できましたか?

著作権に関して承諾する場合は「続ける」を選択

- 必要なモジュール等の設定・インストール状況のチェックを行います。
- 条件を満たしている項目はOKで緑色になります
- 条件を満たしていない項目はNGで赤色になります

インストール - Moodle 2.5+ (Build: 20130606) Take Screens

Moodle 2.5+ (Build: 20130606)

このバージョンのMoodleに関する詳細情報は[オンラインリリースノート](#)をご覧ください。

サーバチェック

名称	情報	レポート	状態
unicode		① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
database	mysql	① バージョン 5.1.33 以上が必須です。あなたは現在 5.1.66 を使用しています。	OK
php		① バージョン 5.3.3 以上が必須です。あなたは現在 5.3.3 を使用しています。	OK
preunicode		① 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	iconv	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	mbstring	① 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	curl	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	openssl	① 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	tokenizer	① 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	xmlrpc	① 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	soap	① 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	ctype	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	zip	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	gd	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	simplexml	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	spl	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	pcre	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	dom	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	xml	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	intl	① 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	json	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	hash	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_setting	memory_limit	① 推奨設定が検出されました。	OK
php_setting	safe_mode	① 推奨設定が検出されました。	OK
php_setting	file_uploads	① 推奨設定が検出されました。	OK

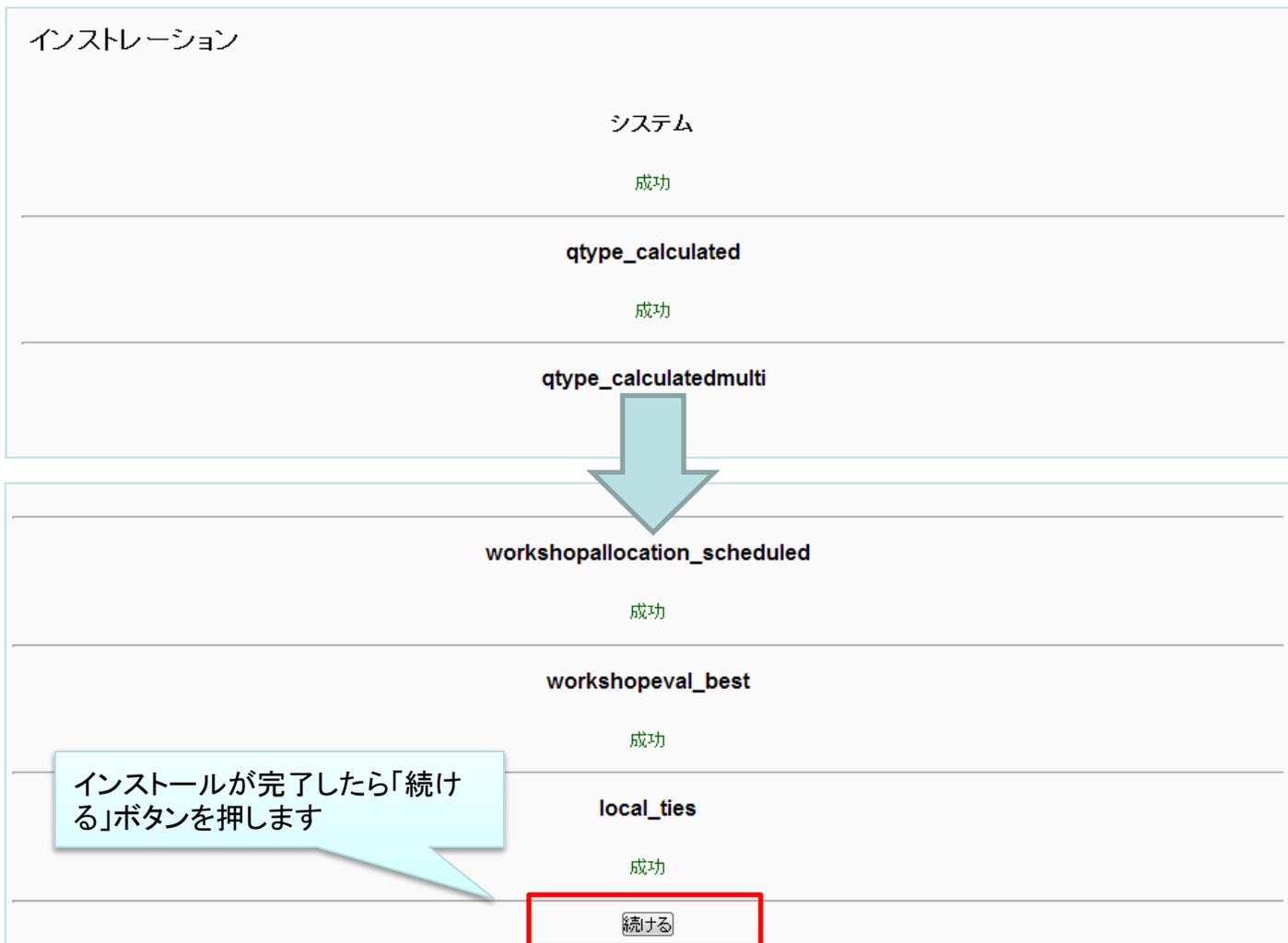
あなたのサーバ環境は、最小限の必要条件すべてに合致します。

[続ける](#)

必要なモジュールのインストール状況が表示されます

TIES V8のインストール テーブルの作成

- 必要テーブルの作成及びモジュールのインストールを行います
- インストールが完了すると自動的に画面下部にスクロールされます
- **ここ失敗した場合、DBを作り直し、初めからインストールを行う必要があります**



- 管理者ユーザーの設定を行います
- ユーザー名はadmin以外にすることでセキュリティが向上します
- パスワードは8文字以上であり、さらに英数字・大文字・小文字・非英数字をそれぞれ1文字以上含める必要があります

このページではサイトすべてを管理できる最高管理者アカウントを作成します。正しいメールアドレスおよび安全なユーザー名、パスワードを設定してください。あなたは後でさらに管理者アカウントを作成することができます。

一般

ユーザー名*

認証方法の選択  手動アカウント
パスワードには、少なくとも8文字、少なくとも1個の数字、少なくとも1文字の小文字、少なくとも1文字の大文字、少なくとも1文字の非英数字を入力する必要があります。

新しいパスワード*  マスク解除

パスワード変更を強制する 

姓*

名*

メールアドレス*

メールアドレス公開 

メールフォーマット 

メール要約タイプ 

フォーラム自動メール購読 

テキスト編集 

スクリーンリーダ  

電話番号*

- サイトの名称を入力します
- ページによって長い名称と省略された名称が使用されます

新しい設定 - フロントページ設定

長いサイト名
fullname

サイト省略名 (例 単語)
shortname

フロントページ概要
summary

フォント フォントサイズ 段落

B *I* U ABC x₂ x₁ [List Icons] [Link Icon] [Image Icon] [Table Icon] [Color Icon] [Background Color Icon] [Text Color Icon] [Undo Icon] [Redo Icon]

[List Icons] [Link Icon] [Image Icon] [Table Icon] [Color Icon] [Background Color Icon] [Text Color Icon] HTML ABC

パス: p

この概要は「コース/サイト概要」ブロックを使用してフロントページに表示すること、またはフロントページのトピックセクションに含むことができます。

cronの設定方法について説明いたします。

この設定を行うことでフォーラム等の返信をユーザーに配信する機能が実行されます。

Moodleが提供するCronの設定方法については以下を参照ください。

<http://docs.moodle.org/2x/ja/Cron>

○設定方法

サーバーに接続し以下のコマンドを実行してください。

```
crontab -e
```

※コマンドの記述ミスにお気を付けください

※記述ミスをするると既存の設定が削除される可能性があります

サーバーに設定されているエディタの編集画面に変わりますので、以下の行を環境に合わせて追記してください。

※後半のhttp://moodle-url.com/を利用するMoodleのURLに変更してください

※すでに、Cronが設定されている場合がありますので、既存の設定は削除しないように注意が必要です

```
*/2 * * * * wget -q -O /dev/null http://moodle-url.com/admin/cron.php
```

この設定により、2分間隔で実行されます。

※間隔を変える場合は先頭の「*/2」の数字を変更してください

なお、実際に動作しているかはcronのログを見て確認が可能です。

※環境によっては正常に動作していないことも考えられます。

TIES機能モジュールのインストール方法について

- ダウンロードサイトで配布しているモジュールのインストール方法を説明します
- オールインワンパッケージ または TIESメインサーバ用パッケージ をインストールした場合は、すべてのモジュールがインストール済みとなるため、以降からp.15までの作業は不要となります
- インストールまで以下の流れで行います
 1. TIES機能モジュールのダウンロード
 2. FTPなどでTIES機能モジュールのアップロード
 3. TIES機能モジュールのインストール
- TIESモジュール及びTIES機能モジュールの単語の扱いは以下になります
 - TIESモジュール
 - カウントページやフォーラムへの遷移プログラムを含むモジュール
 - TIES機能モジュール
 - 2013/07/30時点では以下のモジュール(括弧内は管理上の名称)
 - mPlayer(mplayer)
 - OpenMeetings(openmeetings)
 - TIESスキン(tiesskin)
 - Shibboleth_ties(shibboleth_ties)

- 適切なディレクトリに展開したモジュールをアップロードすると図の画面が表示されます
- アップデート前にはDBのバックアップを必ず取得してください

Number of plugins requiring your attention: 7

Display the full list of installed plugins

アップロードしたTIES機能モジュール

Plugin name	Directory	Source	Current version	New version	Required by	Status
Activity modules						
Media Player	/mod/mplayer	Contributed		2013032501		To be installed
openmeetings	/mod/openmeetings	Contributed	2013032501	2013032501	Moodle 2010112400	Installed
Turnitin Assignment	/mod/turnitintool	Contributed	2012092401			
Authentication methods						
Shibboleth TIES	/auth/shibboleth_ties	Contributed	2013032501	2013032501	Moodle 2010112400	Installed
Repositories						
openmeetings videos	/repository/openmeetings	Contributed		2013032501	Moodle 2012061700	To be installed
Themes						
TIES	/theme/ties	Contributed	2013032501	2013032501	Moodle 2012062501	Installed
Local plugins						
TIES	/local/ties	Contributed	2013032501	2013032501	Moodle 2012062501	Installed

アップロードしたTIES機能モジュール

インストールして問題なければ
ボタンをクリックします

Reload

Upgrade Moodle database now

- インストールを実行すると結果が表示されます



はじめに

本資料ではMoodle2.5において、Wowzaサーバ間とのファイル連携を行うためのインストール方法(NFSの設定)について記載しています。

前提条件

インストールするサーバOSは「CentOS 6.2 64bit Plain」を対象とし、パッケージ管理コマンド「yum」が使用可能、及びインストールするサーバへsshアクセスが可能な状態である事を前提として記載しています。

またインストールは管理者権限を持つユーザで作業を行う事を前提として記載しています。

なおインストールは特に注記がない限り、最新のバージョンのものをインストールします。

凡例

サーバOS上で実行するコマンドについては、灰色背景で表記しました。

緑色の文字は注記で、コマンドの一部ではありません。

```
$ sudo ufw enable      簡易ファイアウォール機能を有効にする
```

同様に、テキストファイル等への追記・変更については、水色背景で表記しました。

緑色の文字はコマンドと同様に、注記になります。

```
LANG="en_US.UTF-8"
```

NFSの設定

MoodleでアップロードしたファイルをWowzaサーバからストリーミング再生できるよう、NFSの設定を行います。

```
$ yum -y install nfs-utils
$ cp -rp /etc/exports /etc/exports.org
$ vi /etc/exports
```

Moodle2.5でのNFSの設定

/etc/exportsの末尾に下記の行を追加します。

```
[Moodleデータディレクトリ]/filedir [WowzaサーバIP](rw,sync,no_subtree_check)
```

[Moodleデータディレクトリ]

Moodleサーバのデータディレクトリ名を設定します。

[WowzaサーバIP]

Wowzaサーバのホスト名、またはIPアドレスを設定します。

変更を適用するため、下記コマンドを実行します。

```
$ service rpcbind start  
$ service nfs start  
$ exportfs -ra
```

以下、NFSで利用される各ポート番号を固定にします。

```
$ cp -rp /etc/sysconfig/nfs /etc/sysconfig/nfs.bk  
$ vi /etc/sysconfig/nfs
```

vi /etc/sysconfig/nfs のSTATDOPTS の設定値を以下の通り入力します。

```
STATDOPTS="--port 50003 --outgoing-port 50004"
```

```
$ cp -rp /etc/default/nfs-kernel-server /etc/default/nfs-kernel-server.bk  
$ sudo vi /etc/default/nfs-kernel-server
```

/etc/default/nfs-kernel-serverを下記のように設定値を変更します。

```
RQUOTAD_PORT=50000
LOCKD_TCPSPORT=50001
LOCKD_UDPPORT=50001
MOUNTD_PORT=50002
STATD_PORT=50003
```

各種サービスの再起動、自動起動設定を行います。

```
$ service nfslock restart
$ service nfs restart
$ chkconfig rpcbind on
$ chkconfig nfs on
$ chkconfig nfslock on
```

使用ポート番号一覧

使用するポート番号は以下の通りです。

ポート番号	プロトコル	方向
111	TCP/UDP	IN/OUT
2049	TCP/UDP	IN/OUT
50000-50003	TCP/UDP	IN/OUT